

ZENBUTSU

全仏



No.
578

仏暦2555年4月
[2012年]



宮城県気仙沼市観音寺にて行われた東日本大震災犠牲者慰霊一周忌法要
福家英明天台寺門宗管長(左)・半田孝淳天台座主(第30期会長 中央)・西村岡紹天台真盛宗管長(右)

目次	就任のご挨拶 第30期 半田孝淳会長	2
	第30期 副会長・理事長・事務総長 略歴紹介	2
	本会の公益財団法人への移行について	3
	東日本大震災一周忌追悼法要が各地で厳修	4
	「救援基金」について	6
	(財)仏教伝道協会主催「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」のお知らせ	6
	日本記者クラブにて宣言文「原子力発電によらない生き方を求めて」 に関する記者会見を開催	8

第三十期会長就任にあたって



天台座主

半田 孝淳

この度、全日本仏教会第三十期会長に就任させていただくこととなり、身の引き締まる思いであります。

さて、日本は昨年三月に、国難とも申すべき東日本大震災に見舞われました。

文明がいかに発達しようと「諸行無常」は避けることができないということを改めて感じます。しかし、そうであればこそ、残された方々は、なおさら命をいとおしんで生きることには大きな意味があります。

今後、理不尽に家族や友人を奪われ、住み慣れた土地を追われ、仕事を失った人々の心をいかに癒すかが、私ども宗教者の使命となることでしょうか。

又、一方で、原子力発電所の放射能漏洩事故で、周辺の住民の方々は、住居や仕事を放棄せざるを得なくなり、長期にわたる避難生活を余儀なくされておられます。

利便性の美名の基に自然の理を無視し、豊かさのみを追求してきた人間の欲望や傲慢さに強い疑念を覚えます。

さらに、今日の我が国には、世界経済の悪化と構造不況により明日が見通せない閉塞感が満ちております。

このような状況を変革するためには仏教の慈悲心、利他の心を日本人が取り戻すことが必要であります。

よりよい日本、世界平和の実現に向けて、各ご教団のご協力とご支援をお願い申し上げます。

第三十期副会長・理事長・事務総長 略歴紹介

北河原 公敬 副会長



経歴

龍谷大学大学院修士課程修了

華嚴宗管長・東大寺別当

東大寺塔頭中院院住職

その他経歴・著書等

神仏霊場会副会長

財団法人美術院評議員 他

画集『修二会の風景』／版画…浦田周社、

文…北河原公敬

横田 南嶺 副会長



経歴

筑波大学卒業

臨済宗円覚寺派管長

円覚寺僧堂師家

その他経歴・著書等

京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行

円覚寺足立大進老師に嗣法 他

萩野 映明 副会長



経歴

学習院大学卒業

財団法人埼玉県佛教会会長

曹洞宗能仁寺三十一世住職

その他経歴・著書等

報知新聞社運動部担当記者を経験

財団法人全日本仏教会第二十九期理事 他

前田 定成 副会長



経歴

佛教大学卒業
和歌山県仏教会会長
浄土宗廣原寺前住職

その他経歴・著書等

総本山知恩院おつぎ運動教区推進委員長
浄土宗和歌山教区教区会議員
財団法人全日本仏教会関西支局運営委員 他

宮林 昭彦 副会長



経歴

大正大学大学院修士課程修了
日韓仏教交流協議会会長
鎌倉大本山光明寺法主

その他経歴・著書等

日中友好宗教懇話会顧問
『仏教とその流れ』『法然上人と浄土宗』 他

小林 正道 理事長



経歴

大正大学大学院文学研究科修士課程仏教専攻修了
浄土宗妙定院住職
WFB（世界仏教徒連盟）副会長

その他経歴・著書等

浄土宗出版室長
浄土宗宗祖法然上人八〇年大遠忌中央実行委員会委員
浄土宗平和協会副理事長
財団法人全日本仏教会国際交流審議会委員 他

経歴

龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了
真宗大谷派宗務所組織部出仕

その他経歴・著書等

真宗大谷派東京宗務出張所長
真宗大谷派奥羽教務所所長
財団法人全日本仏教会評議員 他

「公益財団法人全日本仏教会」として

四月一日新たな門出

本会は、広く、不特定多数の方々の公益に資することを念頭に、より社会的な責任と信用が望まれる公益財団法人を選択した。

これまでの経過を述べると、平成二十年十二月一日、公益法人制度改革の関連三法が施行されたのを受け、同月四日、本会常務理事会の協議事項として公益法人制度改革の審議を開始。平成二十一年十二月三日、理事会・評議員会で本会が公益財団法人へ移行することを機関決定した。

平成二十三年一月二十日
評議員会・理事会 公益財団法人の定款を承認

平成二十三年三月二十五日
内閣府公益認定等委員会事務局へ公益財団法人の移行を申請

平成二十三年七月七日
内閣府公益認定等委員会事務局へ公益財団法人の登記を平成二十四年四月一日とする希望を申請

平成二十三年八月五日
内閣府公益認定等委員会事務局から公益財団法人として妥当であるとの認定通知受領

平成二十四年三月二十一日
内閣府公益認定等委員会事務局から公益財団法人認可通知受領

平成二十四年四月一日
公益財団法人移行登記完了

公益事業と機関設計

公益財団法人全日本仏教会の公益事業は、「仏教文化の宣揚等を通じて、世界平和の進展を推進する事業」に集約し、具体的な各種の仏教文化事業を展開することとなった。

機関設計は、法令により本会の重要事項を諮る評議員会（七名〇十名・任期四年）を上位に位置づけ、その下に会務運営を行う理事会（十五名〇二十名・任期二年）を置いた。また、評議員選定委員会（五名・外部委員二名を含む）を設け、公平且つ公正に評議員を選定できるようにした。

加盟団体の意見や提言を事業運営に反映できるよう加盟宗派代議員会議と都道府県仏教会・仏教団体代議員会議を設置した。理事が会議に出席し、会議の内容を理事会において具申できる方途を作った。

WFB（世界仏教徒連盟）日本センター運営委員会を設置し、世界の仏教徒との緊密な交流を通じて仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することにより時局へのより迅速な対応を目指した。

東日本大震災一周忌追悼法要が各地で厳修

本会は二月一日に「東日本大震災 一周忌追悼法要のお願い」を加盟団体に送付、一周忌法要と撞鐘を呼びかけました。各地で行われた法要の一部を掲載させて頂きます。

福島県仏教会主催・本会后援

「東日本大震災犠牲者慰霊法要」厳修

三月五日午後二時よりあおき郡山斎苑にて表記法要が厳修された。導師を河野太通臨濟宗妙心寺派管長（第二十九期会長）が勤め、福島県仏教会加盟の僧侶約百名、一般参加者四百名が参集した。入堂時には真言声明が唱えられ、献花・献花ののちに般若心経をはじめとした読経の後、河野管長の法話が行われた。

第二部では「癒しのミニコンサート」として、和合亮一さんの詩の朗読、サウンドセラピストのAikaさんによるコンサートが行われ、会場が一体となったの合唱が行われた。その後、曹洞宗梅花講員が御詠歌をお唱えする中、全

員が焼香を行い祈りをささげた。

（八頁に写真掲載）

天台宗・天台寺門宗・天台真盛宗三山合同 東日本大震災犠牲者慰霊一周忌法要

三月十一日、宮城県気仙沼市観音寺（天台宗）にて表記慰霊法要が厳修された。三派合同の法要の実施に関しては、各派とも「近年の記録にはない」取り組み。

午後一時半より常行三昧法要が行われ、半田孝淳天台座主（第三十期会長）が大導師、福家英明天台寺門宗管長と西村罔紹天台真盛宗管長が副導師を勤めた。僧侶約百名、檀信徒約三百名が参集した。式中、千宗家武者小路千家の第十五代家元・後嗣による献茶が行われ、島田亨東北楽天ゴールデンイーグルス球団オーナーをはじめとした多数の方々の焼香が行われた。

半田座主は「復興に向けて進む中で大きな絆が生まれた。手を合わせて神仏に祈りを捧げていたきたい。きつと心に一筋の灯火を

見いだすことができる」と、力強く被災者に語りかけた。

（表紙に法要写真掲載）

全日本仏教青年会主催 慰霊追悼・復興祈願法要

三月十一日、福島県伊達市成林寺（曹洞宗）にて表記法要が厳修され、宗派を超えて百五十名が参集した。本会より戸松義晴事務総長が参列した。

地震発生時刻には撞鐘と黙祷が行われ法要が開始された。村山博雅全日本仏教青年会理事長を導師に法華経の読経が行われ、多数の一般参列者による焼香が行われた。復興祈願法要では松岡広也全国曹洞宗青年会会長を導師に般若心経の転読が行われた。

法要にはWFBY（世界仏教青年連盟）のデンボン・スワンチャイロプ事務総長も参列。

全日本仏教青年会は被災地へ多くの僧侶を派遣して被災地支援活動を継続して行っているが、村山理事長はさらなる被災地支援に意欲を示した。

（八頁に写真掲載）



全日本仏教青年会主催法要にて挨拶を行う戸松義晴事務総長

建長寺にて仏教・神道・キリスト教合同の追悼法要「東日本大震災〜一年目の祈り〜」厳修

神奈川県鎌倉市の建長寺にて表記法要が厳修され、本会より西野良嘉広報文化部長が参列した。

宗教者約百八十名が境内を巡堂。地震発生時刻には追悼の鐘が撞かれ、多数の参列者と共に黙祷が捧げられた。その後、法堂において鎌倉市仏教会、鶴岡八幡宮、鎌倉市内のキリスト教諸宗教による震災追悼・復興祈願法要が行われた。仏式法要の導師は吉田正道臨濟宗建長寺派管長が勤め、参列者の焼香が行われた。



宗教者約百八十名による境内巡堂の様相
(鎌倉市 建長寺)

また、鎌倉在住の女優・石田ひかりさんが谷川俊太郎の詩「生きる」を朗読。高井正俊臨済宗建長寺派宗務総長が謝辞を述べた。法要の前後には「震災を語る」と題し若手僧侶、ボランティア、被災者等が当時の想い、現況を報告。会場では支援団体「スジャータプロジェクト」によるチャリティーコンサート及び物品販売が行われた。売上は被災地支援活動に役立てられる予定である。当日は拝観無料、参加者七千名。

鎌倉市光明寺にて、日韓両国の僧侶による法要が厳修

日韓仏教交流協議会・同婦人部、



韓国側僧侶による舞踊、法要が行われた
(鎌倉市 光明寺)

韓日仏教文化交流協議会・同婦人部主催による「東日本大震災物故者追悼一周忌並びに被災地復興祈願法要」が三月九日、鎌倉市浄土宗大本山光明寺にて厳修。本会より西野良嘉広報文化部次長が参列した。

日本僧侶による法要は宮林昭彦日韓仏教交流協議会会長（第三十期副会長）を導師に行われ、震災で亡くなった檀家信徒四百五十一名の氏名が読み上げられた。また、法要中には浄土宗神奈川教区吉水講によるご詠歌が奉詠された。韓国僧侶による法要は舞踊や太鼓等の鳴り物を使用して厳修。今回の法要の為に韓国より僧侶・信徒ら約百名が来日し、慈乗（ジ

ヤスン）韓日仏教文化交流協議会会長のお言葉が述べられ、藤田隆乗日韓仏教交流協議会副会長の謝辞が述べられた。

臨済宗妙心寺にて東日本大震災一周忌追悼法要が厳修

三月十一日午後二時四十六分、妙心寺仏殿にて河野太通臨済宗妙心寺派管長（第二十九期会長）を導師に表記法要が厳修。法要に訪れた一般参列者も共に祈りを捧げた。



河野太通臨済宗妙心寺派管長を導師に法要が厳修（京都府 妙心寺）
※写真提供 妙心寺

※掲載以外の法要・鐘撞厳修団体一覧につきましては本会ホームページをご覧ください。

http://www.jbfn.jp/2012/02/post_218.html

本会救援基金
東日本大震災支援に関する
中間報告書刊行

本会は東日本大震災の被災者・被災寺院への支援として、常設しております「救援基金」からの支出をはじめとして、様々な支援活動を展開致しました。

第一次緊急支援対象として
一、日本赤十字をはじめとする
公的支援機関

二、直接支援団体（仏教系ボランティア組織）

三、直接支援寺院（避難所となつた寺院）

第二次支援対象として

一、福島第一原子力発電事故対応を行った団体への支援として福島県仏教会

二、東北三県沿岸に所在する被災寺院

また、京都珠数製造卸共同組合様より寄贈頂いた腕輪念珠十万連を被災地の寺院等を通じて配布致しました。これらの支援に関して、中間報告書を作成致しました。報告書は本会ホームページより閲覧頂けます。

<http://www.jbfn.jp/>

「救援基金」寄付者一覧

(平成二十三年十二月十日)

平成二十四年三月十三日

月読寺 小池龍之介

齊藤清美・親秀、親類一同

滋賀県仏教会

長岡市寺泊地区仏教連合会

若院会会長 日下昭順

(浄土真宗本願寺派 添下組)

東京都仏教連合会

・新宿区 高德寺

・葛飾仏教会

金龍山 浅草寺

下諏訪町佛教会

(順不同・敬称略)

合計二百五十六万七千八百二十二円

ご支援、誠にありがとうございます

ました。本会では、国内外における災害救援や人道的支援に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。

今後とも状況を見据えた上、現地の被災者救援活動を支援いたします。

つきましては加盟団体、各ご寺

院、檀信徒、門信徒のみならず、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、救援金は下記口座までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

記

郵便振替口座

口座番号

00110091704834

口座名義

全日本仏教会救援基金

お問い合わせ先

財団法人 全日本仏教会事務局

財務部

電話 03-3437-9275

FAX 03-3437-3260

(財)仏教伝道協会主催

「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」のお知らせ

(財) 仏教伝道協会では、和英

対照『仏教聖典』をテキストとして使用し、初歩英語を通して仏教を学ぶ事ができる「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を昨年からお知らせしています。

講義は日本語と英語を交えながら進められ、仏教に興味がある方、英語に興味のある方、どなたでも参加頂けます。受講ご希望の方は左記要項をご参照の上、ホームページ等よりお申し込み下さい。

記

Buddhism Through English 2012

— The First Semester —

平成二十四年度 仏教聖典を初歩英語で学ぶ会—前期—

前期・忙しい人のための仏教—教え、歴史、日常生活—

第一回 二〇一二年四月二十六日
第二回 二〇一二年五月二十四日

第三回 二〇一二年六月二十八日
第四回 二〇一二年七月二十六日
第五回 二〇一二年九月二十七日
第六回 二〇一二年十月二十五日

テキスト・和英対照『仏教聖典』

一、六〇〇円(貸出も可)

会費・六千円

定員・四〇名

場所・〒一〇八〇〇一四

東京都港区芝四一三ー十四

仏教伝道協会センタービル

八階「和」の間

●申込み期限

二〇一二年四月二〇日まで

会費は当日お支払い下さい。

お申込みは、仏教伝道協会ホームページを

もご覧ください。お電話でもお申込み頂けます。

(財) 仏教伝道協会

担当：大來(オオギ)

電話 〇三ー三四五五ー五八五一

FAX 〇三ー三七九八ー五八五一

Email: bdk@bdk.or.jp

ホームページ

http://www.bdk.or.jp/

無料法律相談室

本会顧問弁護士の長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

事務総局録事

二月（十六日～二十九日）

十六日▼新日本法規出版大村氏来局

十七日▼経済産業省来局

▼第二回税務懇談会出席
（増上寺会館）

▼藤谷光信参議院議員秘書、
本願寺宗務首都圏センタ
ー職員来局

二十日▼記者会見（日本記者クラブ）

二十一日▼京都松栄堂畑氏来局

二十二日▼（財）国際仏教興隆協会
第九十八回理事・監事
会出席（増上寺会館）

二十三日▼参議院議員鈴木政二君
を励ます会出席（ルポ
ール麹町）

▼無料法律相談室
二十四日▼武田司法書士事務所訪
問

▼野村證券来局

二十七日▼関西支局運営委員会出
席（京料理はり清）

二十八日▼局内会議
二十九日▼大和証券来局

三月（一日～十五日）

二日▼事務総局連絡会議（真言宗
智山派宗務庁）

▼記者懇談会（真言宗智山派
宗務庁）

五日▼鈴木政二・岸信夫参議院議
員、各秘書来局

▼日蓮宗第百二回定期宗会出
席（シエラトン都ホテル東
京 至八日）

六日▼本会事業説明（京都 浄土
宗宗務庁）

▼自由民主党曹団三月定例会
出席（自由民主党本部）

▼第四回平成二十三年度宗教
法人制度の運用等に関する
調査研究協力者会議出席

▼アクサ生命保険来局
七日▼武田司法書士事務所訪問
八日▼BNN第三回連続セミナー
出席（日蓮宗常圓寺）

▼大和証券来局
九日▼無料法律相談室

▼日韓仏教交流協議会主催

東日本大震災一周忌法要取
材（鎌倉 光明寺）

十日▼都内戦災・関東大震災遭難
者春季慰霊大法要参列（東
京都慰霊堂）

十一日▼全日本仏教青年会主催
「東日本大震災一周忌慰
霊法要・復興祈願法要」
出席（福島県伊達市 成
林寺）

▼浅草仏教会主催 東日本
大震災一周忌法要取材
十二日▼審議会・委員会答申・報
告会及び懇談会（東京グ
ランドホテル）

▼大東観光来局
十三日▼局内会議

▼損保ジャパン来局
十四日▼BNN企画委員会出席
（庭野平和財団）

▼日本宗教連盟幹事会・理
事会・宗教文化セミナー
出席（國學院大學・学術
メディアセンター）

十五日▼参議院自由民主党全日本
仏教議員連盟朝粥会出席
（東京グランドホテル）

京都宗教記者懇談会開催

三月二日午後三時三〇分より、
京都智積院内の真言宗智山派宗務
庁にて全日本仏教会と京都宗教記
者会との懇談会が開催され、十社
十二名の記者が出席した。

懇談会では二月二〇日に行われ
た記者会見（八頁参照）について、
東日本大震災支援や復興に関する
活動について、暴力団排除条例に
関する対応、不活動法人対策等の
本会の活動に関して本会より報告
が行われ、続いて質疑応答及び意
見交換が行われた。

参加記者からは「少欲知足を説
くだけではなく、もっと社会状況
に対して実際に働きかけを行うべ
き」といった意見や、「被災した
寺院が政教分離の原則によって、
国家機関から救済が行われていな
い。何とか働きかけを」といった
要望が寄せられ、事務局と参加記
者との活発な意見交換が行われた。
記者懇談会は毎年開催されてお
り、今後も開催される予定。

宣言文「原子力発電によらない生き方を求めて」 に関して記者会見を開催



記者会見を行う河野太通会長（中央）、戸松義晴事務総長（左）
※ 役職はいずれも当時

本会は昨年12月1日に出した宣言文「原子力発電によらない生き方を求めて」に関して、日本記者クラブにて河野太通会長、戸松義晴事務総長（いずれも当時）が2月20日に記者会見を行いました。

また、3月4日には京都智積院にて記者懇談会を開催し、宣言文に関するご意見を頂きました。（関連6頁）

会見の動画は日本記者クラブホームページよりどなたでもご覧頂けます。

日本記者クラブホームページ

<http://www.jnpc.or.jp/>

各地の東日本大震災一周忌追悼法要写真集



戦死戦災殉難者追悼・東日本大震災犠牲者追悼大法要 浅草仏教会 浄土真宗東本願寺派東本願寺にて



東日本大震災物故者一周忌追悼法要 浄土宗 大本山増上寺大殿にて



福島県仏教会主催・本会后援の東日本大震災犠牲者慰霊法要にて法話を行う河野太通臨濟宗妙心寺派管長（第29期会長） あおき郡山祭典にて



全日本仏教青年会主催 慰霊追悼・復興祈願法要 福島県伊達市成林寺にて